

特別展覧会 桃山時代の

# 狩野派

## 永徳の後継者たち

Kano Painters  
of the  
Momoyama Period

Eitoku's  
Legacy



唐獅子図屏風(部分)  
山梨堂 京都・本法寺

あなたは今  
きつと、は  
立ち尽くす。

2015年

4・7(火) | 5・17(日)

京都国立博物館 (東山七条)  
明治古都館 KYOTO NATIONAL MUSEUM

開館時間: 午前9時30分~午後6時(金曜日は午後8時まで)

休館日: 月曜日(ただし5月4日(月)は開館)

主催: 京都国立博物館、毎日新聞社

後援: NHK京都放送局、NHKプラネット近畿

協賛: (公財)京都文化交流コンベンションビューロー

協賛: 野崎印刷紙業、大和ハウス工業、大林組

協力: 日本香堂



# 豪壮」から



重文 豊臣秀吉像(部分)  
光信筆

重文 宇和島伊達文化保存会  
愛媛・宇和島伊達文化保存会  
〔前期4/7・4/26〕

現存する秀吉を描いた  
画像の中で、  
最大の大きさを誇る。  
絵師の落款はないが、  
顔や手を極端に  
小さくあらわす点に  
光信の個性が顕著である。



重文 南蛮屏風(右隻・部分)  
山楽筆 東京・サントリ―美術館  
〔後期4/28・5/17〕

秀吉の計らいで永徳に入門した山楽の代表的風俗画の一つ。  
この右隻には南蛮船の入港と南蛮寺が、左隻には異国での  
彼らの生活や風俗が生き生きと捉えられている。

2015年は大坂の陣から400年にあたります。  
豊臣から徳川へと天下の趨勢が一変したこの出来事  
の前後、武士はもとより、絵師もまた熾烈極まる生き  
残りかけた戦略を繰り広げました。とくに権力者  
と密接に関わってきた狩野派にとつて、この時  
期は棟梁・永徳の死やライバル・長谷川等伯の台  
頭、来るべき新時代の覇者の見極めなど、一門に  
とつて最も苦しく、また難しい判断を下さねば  
ならない激動の時代でした。本展は、狩野派史  
上最大のピンチにおちいった慶長年間前後に  
着目し、永徳没後、「豪壮」から「華麗」へ、さら  
に新たな為政者・徳川家に対応すべく、「蒲酒淡麗」  
へと画風を変えていく一大転換の過程を、永徳の  
後継者たちの作品を一堂にして辿るものです。ま  
た、この「桃山後期」に焦点をあてた狩野派の展覧会  
としては、過去最大規模となる、国宝1件、重要文化  
財23件、重要美術品1件、初公開作品3点を含む69件  
を出品し、百花繚乱のごとくその才能を花開かせた  
狩野派絵師たちの競演と戦いの歴史をご紹介します。



切手の図案にもなった本園は、  
風俗画が流行した  
桃山後期の最たる名品。  
満開の桜の下で  
繰り広げられる風流踊りや  
貴婦人たちの酒宴の様子が  
格調高く表されている。

国宝 花下遊楽図屏風  
(左隻部分)  
長信筆 東京国立博物館  
〔後期4/28・5/17〕

伝淀殿像  
奈良県立美術館



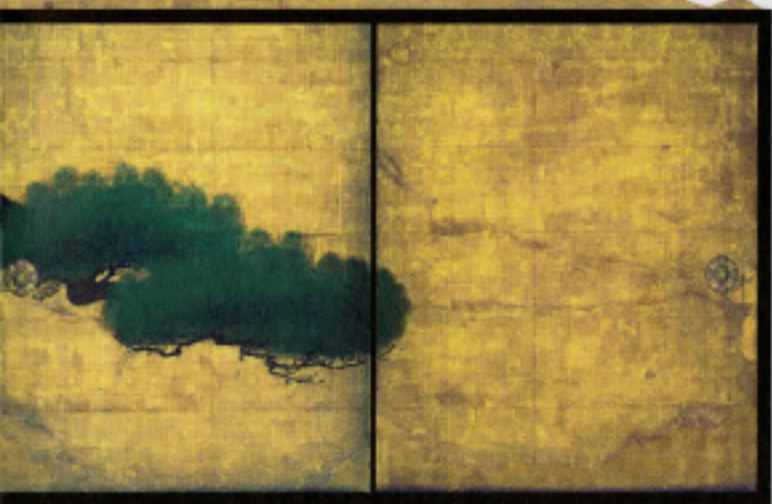
This stunning exhibition features vibrant golden folding screens and large-scale sliding door paintings by artists of the Kano school, whose history as Japan's most prominent painters lasted nearly four centuries. This exhibition features 69 works (including 1 National Treasure and 23 Important Cultural Properties). Come to the Kyoto National Museum to see the brilliant masterpieces that decorated the castles of warriors and the palaces of the imperial court.



重文 洛中洛外図屏風(左隻)  
富山・勝興寺

この左隻の中央には  
家康・秀忠の上洛時の  
居館であった二条城が  
威容を誇らんと描かれて  
右隻には御所と豊臣秀頼が  
再建した方広寺が  
配されているのだが、  
二条城が圧倒的に大きく、  
当時の政治状況を  
まさに暗示している。

扇面画帖  
宗秀筆





# 「華麗」へ

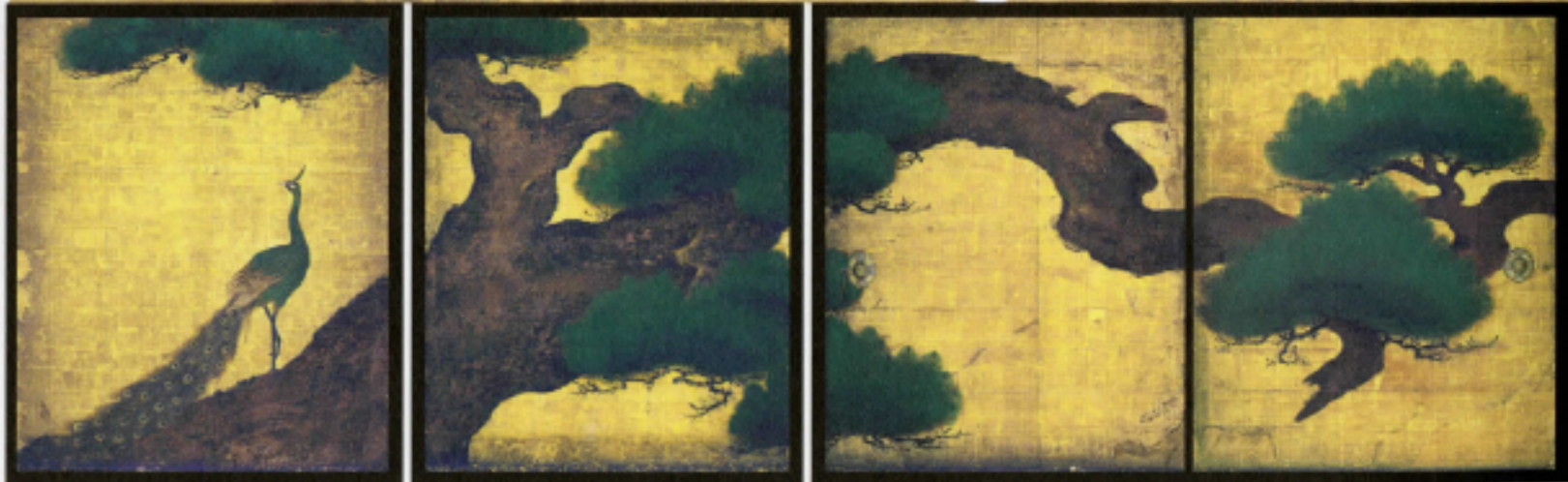
重文 豊国祭礼図屏風  
(左隻・部分)  
内膳筆 京都・豊国神社  
〔5/7・5/17〕

豊臣秀頼の命で制作された、豊臣家の一大イベント、秀吉七回忌臨時大祭の様子を描いたもの。群衆の凄まじい熱気が観る者を捉えてやまない。



重文  
松に孔雀図壁貼付・横探幽筆  
京都・元離宮・一条城事務所

徳川家光が改修した二条城二の丸御殿に、探幽が25歳のときに描いた障壁画。超ど級の巨大さを誇る松の表現は桃山絵画の延長線上にあるが、一方で動きや荒々しさを抑え、神を意識した構成は、幕府体制の安定を狙う徳川家の志向と合致する。絵画における江戸時代の到来を告げる作品。



## 狩野派略系図とその戦略

### 桃山時代を中心に

重文 四季花木図襖  
光信筆 滋賀・園城寺  
豊臣秀頼が再建した助学院の客殿に描かれた。複雑に交差する金雲とその合間から姿をのぞかせる美しい樹々は見る者に爽やかな印象を残す。繊細優美な絵画世界を創造した光信の最高傑作。

重文 吉野花見図屏風(左隻・部分)  
京都・細見美術館  
〔前期4/7・4/26〕  
秀吉が公家衆や家康ら諸大名を引き連れて桜の名所・吉野に赴いた光景を描いたもの。秀吉はポルトガル人使節から贈られた中国製の担ぎ駕籠に乗り、今まさに大鳥居に差し掛かるところと

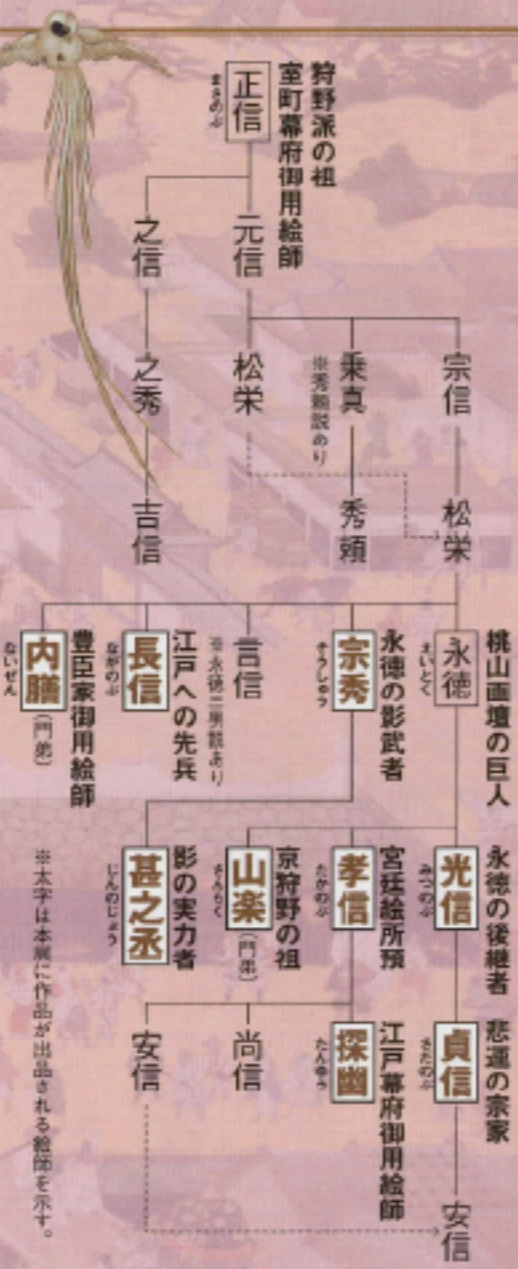


### 「屈辱」からのスタート

桃山画壇に君臨した巨人・永徳の急死の後、大黒柱を失った狩野派一門に、さらに追い打ちをかける事件が起きた。それまで豊臣秀吉の手厚い庇護を受け、ほとんどの作画を任されてきた狩野派が、あろうことか最大のライバル、長谷川等伯に秀吉からの仕事を奪われたのだ。棟梁となったばかりの永徳の長男、光信にとって、これほどの屈辱はなかつただろう。そうした汚名をそそぐべく、光信と一門は、まさに一丸となってあらゆる画事に邁進した。

### その名も「三面作戦」？!

永徳の次男・孝信は、天皇の信頼厚く宮廷絵所預として活躍。また、永徳より34歳年下の弟・長信は早くから徳川家康・秀忠に仕え、後に探幽が江戸幕府御用絵師の地位を手に入れるための、先兵の役割を果たした。一方で、豊臣秀吉・秀頼の信任厚かつた永徳の門弟・山楽は、豊臣家滅亡の後も京に留まり、京狩野の祖としてその礎を築いた。はたして意図してか、狩野派のDNAが命じたのか、三面(朝廷・豊臣・徳川)作戦によって、狩野派は幕末まで生き延びたのである。



# そして

# 「瀟洒淡麗」へ。



# 「日本という国は懐が深い」

—新発見・初公開の逸品が登場!

## 新発見 初公開

### 北野社頭遊楽図屏風

ごく最近発見された孝信の風俗画。北野社や経堂の前で繰り広げられる酒宴や踊り、樓幕の中で食事を作る者たちの姿が克明に捉えられている。とくに女性に抱き付き頼みたり、肩に手を掛け言い寄るなどの色っぽい場面が大きく取り上げられているのは、狩野派の風俗画としては珍しいといえよう。保存状態も抜群で、金の輝きと濃麗な彩色が見事なハーモニーを奏でる。



## 新発見 初公開

### 横に白鷺図屏風

そもそも、桃山時代の金碧大画で現存する作例は極めて少なく、本屏風の発見は、奇跡に近い。繪の巨木を躍動的に描いた永徳の代表作「繪図屏風」(東京都立博物館)を彷彿とさせ、本作も実物大の横が画面外に突出するさまはスケール感豊かである。もとは壮大な堂を飾る。横絵の二面分であつたらしく、縦15センチ近い御殿引手の跡が残る。



## 初公開

### 源氏物語図屏風(右隻)

京都・檀王法林寺

光信様で描かれた大作。「相変」から「野分」までの25場面が配され、王朝文化らしい華やかさが伝わる。展覧会で紹介するのは本屏が初となるもので、全面修復後の一新した姿でご覧いただく。

会期中、一部の作品は展示替えを行います  
 (主な展示替え: 前期4/7・4/26、後期4/28・5/17)  
 ※展示期間の表記がない作品は、全期間展示です

観覧料(税込)	一般	大学生	高校生
当日	1,500円	1,200円	900円
前売・団体(20名以上)	1,300円	1,000円	700円

※中学生以下、障がい者の方とその介護者1名は無料となります(要証明)  
 ※本料金で平成知新館の名品ギャラリーもご覧いただけます  
 ※キャンパスメンバーズは、学生証をご提示いただくと団体料金になります  
 ※前売券の発売期間は2015年3月1日から4月6日まで(会期中は当日券のみ)

**お得な《早割ペアチケット》** 期間限定発売  
**2枚で2000円** 2014年12月25日  
 (一般のみ、1名様で2回使用可) 2015年2月28日

### 主なチケットの発売所

チケットぴあ(Pコード:766-544)、ローソンチケット(Lコード:ペア券56684/前売・当日56685)、セブンチケット、イープラス、CNプレイガイド、JTB各店舗、近鉄の主な駅営業所、ほか主要プレイガイドとコンビニエンスストア

※チケット購入時に手数料がかかるサービスもありますので、各販売サイトをご確認ください

### 記念座談会

本展会期中の最初の土曜日に開催! 座談会の様子は後日、本展公式サイトにてテキスト掲載予定!

「日本美術応援団、桃山時代の狩野派を応援する!!」  
 4月11日(土)

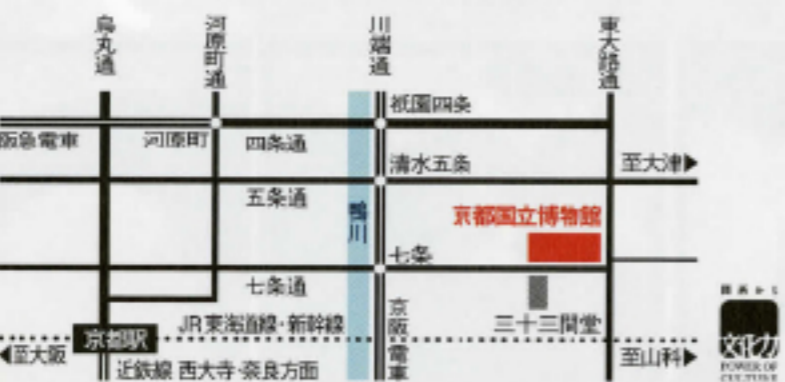
・時間=午後1時30分~午後3時  
 ・会場=京都国立博物館 平成知新館 講堂(地下1階)

山下裕二(明治学院大学教授・日本美術応援団団長)  
 井浦 新(俳優・京都国立博物館文化大使・日本美術応援団員3号)  
 山本英男(京都国立博物館学芸部 首席研究員)

※定員200名、聴講料は無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要です)  
 ※当日、12時より平成知新館1階グランドロビーにて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します

### アクセス

- JR・近鉄: 京都駅下車、駅前市バスD2のりばから206・208号、D1のりばから100号系統にて博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ
- 京阪電車: 七条駅下車、東へ徒歩7分
- 阪急電車: 河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行にて七条駅下車、東へ徒歩7分/または、河原町駅下車、四條河原町から207号系統にて東山七条下車、徒歩3分
- 市バス: 博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ/または東山七条下車、徒歩3分
- ご来館はなるべく公共交通機関をご利用ください/駐車場は有料となっております



京都国立博物館 (〒605-0931 京都市東山区茶屋町527)  
 電話075-525-2473(テレホンサービス) ホームページhttp://www.kyohaku.go.jp/

展覧会ホームページ <http://kano2015.jp/>

オープンから2カ月で

入場者数33万人を記録した

「美の殿堂」—平成知新館

本展チケットで一緒にお楽しみいただけます!!

昨年(2014)9月に、平成知新館として、装いも新たに生まれかわった名品ギャラリーでは、来春4月以降も日本が誇る至宝・優品の数々を披露します。

国宝 慧可断臂図(部分)  
 雲舟筆 愛知・高年寺  
 [展示期間4/14・5/10]

重文 波瀾図(部分)  
 長谷川等伯筆 京都・禅林寺  
 [展示期間4/14・5/10]

